

自動車の「仙台」ナンバーの創設の実現を求める件

現在、政令指定都市のほとんどにおいて、自動車のナンバープレートに都市名が表示されておりますが、本市においては都市名が表示されておられません。そのため以前から本市では他の政令指定都市と同様ナンバープレートに「仙台」と表示することを求める声が強く出されておりました。

国では昨年12月に「ナンバープレートの地域名表示細分化等に関する懇談会」を設置し、いわゆるご当地ナンバーの実現に向けた本格的な議論が開始されました。また、第2回の懇談会では、これまで地域名表示を強く求めてきた会津総合開発協議会や伊豆ナンバー創設促進協議会などからの意見聴取を行ったことから、全国的にご当地ナンバーの早期創設への期待が高まっております。本市でも今年8月に市や商工会議所など計10団体が連名で国土交通省へ「仙台」ナンバーの創設を要望しております。

一方、本市においては「仙台」ブランドを中心とした戦略的なシティセールスを積極的に展開し、長い混迷状況からいまだに抜け出せないまま先行きが不透明な状況にある地域経済の再生に向け官民一体となった取組を進めております。

県内の自動車保有台数の約4割を占める本市にとって、「仙台」ナンバーを創設することは仙台市の名をPRすることとなり、国の内外における都市イメージを向上させる効果が期待できます。

よって、国会及び政府におかれては、ナンバープレートの地域名表示の細分化について、地域の要望に応えた柔軟な対応ができるような制度的な整備を進めるとともに、東北の中核都市仙台の100万市民の願いである「仙台」ナンバーの創設を早期に実現するよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成15年10月3日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
国土交通大臣
総務大臣
財務大臣 様

仙台市議会議長 鈴木繁雄